

新 海 財 第 5 4 号
令和 8 年 4 月 30 日

新 潟 市 長 様

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団
代表理事 理事長 佐藤 明

新潟市水族館の管理に関する基本協定に係る
令和 7 年度業務報告書について

標記のことについて、新潟市水族館の管理に関する基本協定第23条第 1 項に規定する業務報告書を別紙のとおり提出します。

新潟市水族館の管理に関する基本協定に係る 令和 7 年度 年間事業報告書

1. 新潟市水族館の管理運営に関する基本方針

(1) 施設の設置目的

新潟市水族館が「魚類、海獣その他水生動物（以下「魚類等」という。）に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより、市民の教養と健全な余暇の活用に資するための施設」であるという設置目的を達成するため、次に掲げる基本理念・基本方針に基づき施設の運営及び維持管理を行うことを目的とする。

(2) 経営理念・経営方針等

新潟市水族館は、「環境と生物と人との出会いの場」という理念のもと、以下に掲げる基本的な使命を通して「次代を担う青少年の教育機能」「市民が気軽に楽しめる文化施設」「観光都市新潟」の核となる施設」という役割を担っている。

① 環境と生物との出会い

水族館の敷地は、日本海を臨み松林に囲まれた良好な環境にあることから、水族館はそこに立地するにふさわしい環境と生物との出会いの広場とする。

② 新鮮な感動と豊かな情操を育む

生命を知ることにより得られる新鮮な感動を通じて、次代を担う青少年の情操教育に資する水族館とする。

③ 種の保存と自然保護

飼育技術の一層の向上と国内外の水族館・動物園・水産研究所との情報交換・調査研究活動などにより、水族館の社会的使命である「種の保存」と「自然保護」の啓発に努める。

④ 学習の場として

児童・生徒が、生物の生態を学習できると同時に、入館者の様々な知的欲求にも答えることができる博物館的機能を備えた水族館とする。

⑤ レクリエーションの場として

文化的レクリエーション施設として、楽しく学習できるよう娯楽性を取り入れる。

⑥ 「水の都にいがた」のシンボルとして

日本海、信濃川など「水の都にいがた」を特色づけている自然と風土を生かしながら、対岸諸国をはじめ世界の魚類や海獣類等を紹介し、北東アジアの拠点都市にふさわしい水族館とする。

2. 利用状況等の総括

令和 7 年度の入館者数は 549,298 人（対前年度比 99.0%）、入館料収入は 480,976,572 円（対前年度比 99.5%）で、いずれも目標は上回ったものの前年度実績を下回る結果となった。これらは、夏場の大阪・関西万博に人が流れたことや 1～2 月の寒波等の影響が考えられる。また、年間パスポートは、購入者は減少したが、リピーターが増加したことから約 90,000 人の入館があり、高い支持を得ている。

「公の施設目標管理型評価書」においては、上記に記載したとおり評価指標（入館者数 540,000 人、入館料収入 460,637,000 円）を上回り、この目標は達成した。

毎月実施しているお客様アンケートにおいては、展示生物に関する満足度で「非常に満足」と「満足」の合計が 96.8%、イルカショーおよび解説プログラムでは 95.4%と、極めて高い水準を維持している。来館者からは「楽しかったです。また来たいです」「何度も来てるけど初めて来たような感じで楽しめました」「解説がわかりやすく新しいことを知ることができた」など好意的な評価が多数寄せられており、展示内容および運営が高く評価されている。さらに、施設環境や職員対応についても好意的な意見が多く、総合的な顧客満足度の高さに繋がっている。来館動向を見ると、年間パスポート保有者を除く来館者のうち「はじめて」の割合は 37.3%で高い水準を維持しており、新規来館者が安定的に確保されている。特に県外来館者においては「はじめて」が 58.0%と過半数を占めており、広域からの集客が裏付けられている。これは潜在的なリピーター層の拡大を示すものであり、今後の来館者数増加に繋がる重要な成果である。一方で、新潟市内の来館者においては来館回数 4 回以上が 65.8%を占めており、高いリピート率を維持している点が特筆できる成果である。新規来館者の増加とリピーターの定着が両立していることは、当館の持続的な集客基盤の強さを示すものである。

当財団は令和 6 年度より新たに 5 年間の指定を受け、2 年目の管理運営を上記のとおり十分な成果を上げて完了した。人件費や物価高騰のほか、中東情勢の緊迫化など厳しい経営環境下においても、これまで培ってきた知識と経験を最大限に活用し、安定的かつ質の高い運営を継続していく。指定管理期間の折り返しとなる 3 年目も「新潟で一番愛される施設」というビジョンの実現に向け、さらなる魅力向上とサービスの充実を図り、来館者数・満足度の一層の向上を確実に推進していく。

3. 入館状況について

【月別入館者数】

単位：人

区分	大人	小人	幼児	乳児	計
4 月	24,348	4,575	2,530	4,670	36,123
5 月	36,441	6,632	4,320	6,557	53,950
6 月	28,173	4,164	3,025	5,717	41,079
7 月	40,356	8,429	4,422	7,384	60,591
8 月	66,067	17,837	6,436	9,510	99,850
9 月	34,772	5,719	3,552	5,856	49,899
10 月	32,639	6,275	3,930	4,986	47,830
11 月	26,040	3,746	3,052	4,997	37,835
12 月	17,067	2,483	2,206	3,363	25,119
1 月	15,895	2,072	2,088	3,715	23,770
2 月	21,138	2,435	3,221	4,430	31,224
3 月	27,263	5,148	4,011	5,606	42,028
計	370,199	69,515	42,793	66,791	549,298

【対前年度比】

令和 7 年度	令和 6 年度	増減	対前年度比
549,298 人	555,093 人	△5,795 人	99.0%

【有料・無料入館者】

単位：人

有料入館者				無料入館者				
大人	小人	幼児	計	大人	小人	幼児	乳児	計
304,372	62,040	30,249	396,661	65,827	7,475	12,544	66,791	152,637

【年間パスポート】

単位：人

購入者				リピーター			
大人	小人	幼児	計	大人	小人	幼児	計
10,368	1,728	2,594	14,690	57,035	5,622	12,384	75,041

※パスポート購入率（パスポート購入者/総入館者数）

2.7%

※パスポート利用者率（（パスポート利用者（購入者+リピーター）/総入館者数）

16.3%

※リピート回数（（パスポート利用者（購入者+リピーター）/パスポート購入者）

6.1 回

【減免（申請書および手帳）入館者数】

単位：人

手帳	申請書						計
	特別支援学校	児童福祉施設	身障者等施設	高齢者施設	小・中学校	幼稚園等	
10,207	843	2,416	1,614	648	3,361	4,669	23,758

※減免入館者数割合（減免/総入館者数）

4.3%

【入館者数の推移】

単位：人

年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
入館者	641,443	696,796	663,949	679,263	645,997	753,042	574,119	591,712
累計	641,443	1,338,239	2,002,188	2,681,451	3,327,448	4,080,490	4,654,609	5,246,321
年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
入館者	573,400	667,844	490,529	486,816	494,161	487,823	453,419	440,286
累計	5,819,721	6,487,565	6,978,094	7,464,910	7,959,071	8,446,894	8,900,313	9,340,599
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
入館者	460,529	396,908	447,512	489,113	460,630	481,908	309,716	586,288
累計	9,801,128	10,198,036	10,645,548	11,134,661	11,595,291	12,077,199	12,386,915	12,973,203
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入館者	564,629	529,218	525,008	526,371	518,980	509,286	364,392	418,578
累計	13,537,832	14,067,050	14,592,058	15,118,429	15,637,409	16,146,695	16,511,087	16,929,665
年度	R4	R5	R6	R7				
入館者	514,910	543,257	555,093	549,298				
累計	17,444,575	17,987,832	18,542,925	19,092,223				

※H24.9.1～H25.7.14 は、リニューアル工事のため休館

※R4.21～5.10 及び R3.9.3～9.16 は、新型コロナウイルス感染対策のため休館

4. 施設の管理運営状況について

(1) 開館時間の変更及び臨時開館・閉館について

ア 開館時間の繰り上げ

<期日>令和7年5月3日（土・祝）～5日（月・祝）

令和7年7月20日（日・祝）、8月10日（日）～17日（日）

<時間>午前8時～午後5時（開館時間60分繰り上げ）

<根拠>新潟市水族館条例第1条の3ただし書きによる協議

<理由> 繁忙期において（ゴールデンウィーク、海の日、お盆期間）、開館時間を繰り上げることで時間帯毎の入館者数を平準化し、混雑緩和を図るため

イ 臨時開館

<期日> 令和8年1月2日（金）・3日（土）

<時間> 午前9時～午後5時（通常開館時間）

<根拠> 新潟市水族館条例第1条の2ただし書きによる協議

<理由> 正月の来館者サービス及び新潟護国神社参拝客の相乗効果を図るため

ウ 臨時閉館

<期日> 令和8年3月5日（木）・6日（金）

<根拠> 新潟市水族館条例第1条の2ただし書きによる協議

<理由> 電気事業法に基づく電気設備法定点検の実施及び集中的な補修工事を行うため

(2) 展示生物の状況について

約 600 種 20,000 点の魚類、海獣その他水生生物の飼育展示規模の維持と展示内容の魅力向上に努めた

※令和8年3月31日現在 640 種 23,365 点

(3) 通年事業の実施状況について

ア. ペンギン解説（2回/日）	所要時間：約 15 分
イ. イルカショー（4-5回/日）	所要時間：約 15 分
ウ. マリンサファリ給餌解説（2回/日）	所要時間：約 10 分
エ. 日本海大水槽解説（1-2回/日）	所要時間：約 10 分
オ. 磯のいきもの解説（1回/日）	所要時間：約 10 分
カ. アクアラゴ体験（1回/日）	所要時間：約 20 分

(4) 生物展示関係イベント等の実施状況について

ア 指定管理事業

イベント名称	プログラムタイトル	実施日	参加者数
企画展示	にいがたの潟と水生生物	3/15-6/15	－
	SADO～世界に誇る自然と文化～	7/18-2/23	－
	（パネル展示）魚の耳石展	12/20-4/24	－
	カマイルカレスキュー ～保護から放流までの活動記録～	3/14-6-14	開催中
	フォトコンテスト	募集期間 9/13-10/31 3/1-3-22	応募作品数 56 点 54 点
参加型 イベント	ラムサール条約湿地都市連携事業 にいがたフィールドガイド	4-10 月第 3 土 曜日（8 月除く）	のべ 32 組 63 人
	企画展示 SADO ガイドツアー	8-2 月第 1 土曜 日	のべ 32 組 48 人

記念日 イベント	ペンギン飼育ガイド	4/19,25,26, 5/3,5	のべ 54 人
	イワトビペンギン解説	5/3,5,7,10	のべ 592 人
	カワウソの日 特別解説、アクアラボ体験プログラム	5/24、25	－
	パネル展示	5/25-6/29	－

イ 自主事業

イベント名称	プログラムタイトル	実施日	参加者
ラムサール条約湿地都市連携事業 田んぼ 体験	田起こし	5/18	7 組 18 人
	田植え	6/1	8 組 22 人
	草ふみ	6/15	8 組 21 人
		7/6	9 組 24 人
	柵付け、案山子作り	8/3	6 組 19 人
	稲刈り	9/28	8 組 24 人
	脱穀	10/12	7 組 19 人
	わら細工	11/9	7 組 17 人
野外観察会	貝の標本づくり	6/21	10 組 21 人
	スナガニ観察会	7/5	9 組 22 人
	ラムサール条約湿地都市連携事業 潟のいきもの観察会	9/21	5 組 11 人
SDGs 関連	海岸清掃	4/26	71 人 ※田ノ浦開発協議会、新潟国際情報大学ボランティアと共催
		5/24	200 人
		7/13	66 人
		10/13	47 人
マリンピア カレッジ	イルカと人の発声器官の比較	11/2	18 組 24 人
	湿地ラボ ハクチョウと新潟	1/17	9 組 15 人
	深海サバイバル！極限世界の生きものの秘密	3/21	42 人
講演会	シンポジウム「SADO～世界に誇る自然と文化～」	10/4	31 組 34 人
	水族館職員が語る水族館での魚、カニ、イルカの研究	11/29	28 組 46 人
いきもの 教室	さかなの解剖	12/13	11 組 19 人
	ペンギンの体はどんな形？どんな色？	1/31	5 組 11 人
	ビーバーのうんちペーパーづくり	2/14	10 組 18 人
障がい者 向けイベント	ドリームナイト・アット・ジ・アクアリウム	6/14	91 組 329 人
	サイレントウィーク	3/9-15	各日 13:30～17:00

ガイドツアー	ナイトツアー	8/29	7組 16人
		8/30	7組 17人
		9/5	9組 20人
		9/6	7組 18人
	イルカバックヤードミニガイド	10/11	4組 9人
		10/25	5組 12人
		11/8	4組 9人
		11/22	7組 15人
記念日 イベント	ペンギンの日 パネル展「どうやってペンギンを見分けるの」	4/19-5/23	-
	アクアラボ ペンギン week	4/19-26	94人
	アクアラボ 偽卵作り体験	4/16	9組 18人
		4/26	7組 18人
外部連携 イベント	ラムサール条約湿地都市連携事業 舟に乗って草刈りと泥上げ体験	10/11	※寄生虫発生のため中止
	動く市政教室「わくわくマリンピアツアー」	10/25	11組 22人

(5) 企画イベントの実施状況について

イベント名称	実施日
ゴマフアザラシ愛称募集（応募総数 2,442 点）	7/12-31
ゴマフアザラシ命名式	8/17
オリジナルまるうちわ配布（30,000 枚）	8/9-22
令和 8 年オリジナルカレンダープレゼント（1,200 組）	11/22-
クリスマスツリー展示	11/22- 12/28
門松展示	1/2-7
二十歳のつどいキャンペーン	1/2-18
入館者数 1900 万人達成記念セレモニー	1/5
年間パスポート販売キャンペーン	1/19-2/15
アメリカビーバー愛称募集（応募総数 1,522 点）	1/19-2/15
アメリカビーバー命名式	2/28

(6) 専門的な調査・研究などについて

ア. 飼育水族に関する調査研究

(ア) 魚類等の繁殖・育成に関する調査研究

(イ) 鯨類の繁殖生理及び生体機能に関する調査研究

(ウ) 鯨類の遺伝学的研究

(エ) 死亡時の病理的な調査

(オ) フンボルトペンギンの生息域外保全に関する活動・研究

イ. 野生水族に関する調査研究

(ア) 漂着混獲生態調査

(イ) 地域生物調査

ウ. 研究報告等

- (ア) カマイルカの出産前後の行動観察における iPad の活用
(公社) 日本動物園水族館協会 第 51 回海獣技術者研究会
- (イ) 新潟県の地すべり地を中心としたため池の生物相および魚類相について
2025 年 ゴリ研究会
- (ウ) フンボルトペンギンにおける慢性消化管クロストリジウム症からの鉄欠乏性貧血
2025 年 第 31 回日本野生動物医学会大会
- (エ) 新潟県柏崎市におけるウミウシ類の出現状況とその年変動
2025 年 日本ウミウシ研究会第 2 回情報交換会
- (オ) ため池と河川との連結性が水棲動物相に与える影響—新潟県上越市を事例として—
2026 年 第 73 回日本生態学会大会
- (カ) アカムツの親魚養成技術の開発
令和 7 年度さけます等栽培対象資源対策委託事業新規栽培対象種技術開発 (魚類・甲殻類グループ) 研究成果報告会

エ. (公社) 日本動物園水族館協会 委嘱業務

- (ア) 生物多様性委員会魚類作業部会
シナイモツゴ種別計画管理者、ホトケドジョウ繁殖担当館
- (イ) 生物多様性委員会両生爬虫類作業部会
ハクバサンショウウオ種別計画管理者
- (ウ) 生物多様性委員会ペンギン類作業部会
ペンギン類事業調整者、フンボルトペンギン属専門技術員
- (エ) 生物多様性委員会海獣類作業部会
バイカルアザラシ個体群管理者
- (オ) 教育普及委員会
普及啓発部員
- (カ) 生物多様性委員会
種保存事業部員
- (キ) 安全対策委員会
感染症対策部員、安全対策本部員

オ. (一社) 日本水族館協会 委嘱業務

- (ア) 寄鯨調査協力における地区担当調整者
- (イ) 監事

カ. 専門的な研究会等

- (ア) (公社) 日本動物園水族館協会の会議・研究会等への出席
＜全国＞通常総会、水族館技術者研究会、設備会議、生物多様性委員会、海獣技術者研究会、イルカ会議 など
＜ブロック＞園館長会議、動物園水族館合同技術者研究会、事務主任者会議 など
- (イ) (一社) 日本水族館協会の会議・研究会等への出席
通常総会、トレーニングセミナー、水族館研究会 など

(ウ) その他会議・研究会等への出席

新潟県博物館協議会、ペンギン共同研究のための研修、日本野生動物医学会大会、大都市動物園水族館事務主幹者会議 など

(7) 総合学習の受け入れ及び教育現場などへの講師派遣の状況について

	学校等数								人数
	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援	専門学校	その他	計	
総合学習	2 件	24 件	14 件	6 件	5 件	1 件	6 件	58 件	参加人数 1,809 人
講師派遣	－	10 件	－	－	－	－	2 件	12 件	派遣人数 12 人

(8) 実習生等の受入れ状況について

実習名	大学生	専門学校生	計
飼育	3 人	12 人	15 人
獣医	4 人	0 人	4 人
博物館	5 人	0 人	5 人
計	12 人	12 人	24 人

(9) 市民ボランティアの活動について

登録者数 79 人（令和 8 年 3 月 31 日現在）

活動日数 155 日

活動人数 のべ 453 人

(10) 広告宣伝、広報について

ア. テレビ・ラジオCM

イ. 雑誌・新聞などの紙媒体への広告

ウ. X などの SNS を使った情報発信

エ. プレスリリース

オ. その他（チラシ配布、写真映像等の提供など）

(11) 他園館との協力について

ア. 生物交換

(ア) 魚津水族館（ヒゲソリダイ、コブダイ、スズメダイ、タナカゲンゲ）

(イ) 新江ノ島水族館（アラ・マダコ、ネコザメ）

(ウ) 男鹿水族館（イバラモエビ、モロトゲアカエビ、ヒメタツ）

(エ) ふくしま海洋科学館（クロヌタウナギ、ミズダコ、ハナガサクラゲ）

(オ) ニフレル（ツムギハゼ、キハッソク、ミノカサゴ、オジサン）

イ. 生物搬入

(ア) 足立区生物園（チヂミウスコモンサンゴ）

(イ) 名古屋港水族館（アズマハナダイ、タケノコメバル）

(ウ) 東海大学海洋科学博物館（ブリ、カンパチ、カスミアジ、ネンブツダイなど）

(エ) かみね動物園（アメリカビーバー）

ウ. 生物搬出

(ア) アドベンチャーワールド（カマイルカ：ブリーディングローン）

(イ) 島根県立しまね海洋館アクアス（アカムツ）

(ウ) 山形県立米沢興譲館高等学校（キタノメダカ）

(エ) 加茂水族館（ゴマフアザラシ：ブリーディングローン）

(12) 新潟市・他団体などの協力・連携

事業名	実施日
新潟広域都市圏連携事業「文化・観光施設共通割引券」	通年
一般社団法人日本自動車連盟（JAF）会員割引	通年
内閣府が実施する「子育て支援パスポート事業」会員割引	通年
アルビレックス新潟ホームゲームへの出展	4/13,8/23
チャレンジワーク新潟 お仕事体験受入	5-1 月の間 月 1-2 回
関屋浜海水浴場組合との連携 海岸清掃（3 回）	5/24,7/13,10/13
関屋浜花火大会への協賛	7/20
ばんえつ発見の旅サポートイベントへの参加	6/7,8
国土交通省共催「海の月間」パネル展	7/19-8/17
にいがたダイバーシティネットワーク主催「ジュニア学芸員講座」	7/27
田ノ浦開発協議会との連携 田ノ浦うみまつり出展	8/9
日本生物教育会 新潟大会 古生物コース現地研修の協力	8/10
宮城県 城南高等学校との連携 コシダカウニ継代飼育・展示	9/22-3/16
りゅーとぴあ連携イベント ヴィジョン管弦四重奏団ミニコンサート	10/30
にいがた環境フェスティバル 2025 へ出展	11/9
学校法人新潟青陵学園との包括的連携協定に基づく協力 青陵大学学園祭（青空祭）ブース出展	10/25-26
アカペラサークルによるクリスマスミニライブ	11/22
お正月プチお楽しみ会	1/12
第九管区海上保安部共催 灯台記念日展示イベント	10/25-26
第 7 回ちょ〜生き物発表会 発表	12/7
潟フェス 2026 出展	2/11
新潟大学共催シンポジウム「水族館がもっと面白くなる」講演会及び ポスター展示	3/7
科学技術ワンダーランド出展	3/14
県立がんセンター新潟病院 小児病棟へのライブ配信	3/23

5. 入館料収入の実績について

【月別入館料収入】

単位：円

区分	大人	小人	幼児	計
4 月	28,525,500	2,227,580	314,548	31,067,628
5 月	43,626,700	3,150,580	568,638	47,345,918
6 月	32,304,500	1,805,680	365,610	34,475,790
7 月	48,960,100	4,237,140	611,532	53,808,772
8 月	84,014,200	9,146,780	995,514	94,156,494
9 月	41,303,700	2,462,700	463,918	44,230,318
10 月	39,416,900	2,908,380	539,850	42,865,130
11 月	29,932,900	1,759,340	391,502	32,083,742
12 月	18,725,500	1,150,020	261,392	20,136,912
1 月	17,131,200	933,200	256,038	18,320,438
2 月	25,432,300	1,202,900	434,780	27,069,980
3 月	32,384,200	2,482,060	549,190	35,415,450
計	441,757,700	33,466,360	5,752,512	480,976,572

【対前年度比】

令和 7 年度	令和 6 年度	増減	対前年度比
480,976,572 円	483,151,032 円	△2,174,460 円	99.5%

【減免（申請書および手帳）入館料収入の内訳】

手帳	申請書			計
	高齢者施設	小・中学校	幼稚園等	
3,342,452 円	336,000 円	569,400 円	342,600 円	4,590,452 円

【入館料収入の推移】

単位：円

年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7
入館料	664,330,256	745,655,934	728,832,466	739,603,022	696,523,586	667,281,368
年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13
入館料	618,689,362	629,566,700	603,596,816	564,543,070	511,284,048	502,287,180
年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19
入館料	501,742,942	491,372,730	449,288,856	437,865,870	461,294,764	387,976,716
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
入館料	431,917,636	472,223,438	388,478,216	450,490,618	292,503,700	566,936,564
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
入館料	518,016,218	478,979,038	459,040,376	456,239,052	435,703,446	432,686,238
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
入館料	296,047,488	334,293,906	434,637,276	465,190,538	483,151,032	480,976,572

6. 管理経費等の収支決算について

(1) 指定管理料収支内訳

		収入額	支出額	差額
		673,214,652 円	672,108,117 円	1,106,535 円
内 訳	プロパー人件費	217,103,000 円	210,597,369 円	6,505,631 円
	管理経費	456,111,652 円	461,510,748 円	△5,399,096 円

(2) 修繕料の収支内訳

収入額	支出額	差額
27,000,000 円	37,099,511 円	△10,099,511 円

7. 自己評価に関する事項について

別紙のとおり

8. 事業計画と実績の比較

	事業計画書の目標値 (A)	令和 7 年度実績 (B)	(B) - (A)	(B) / (A)
入館者数	540,000 人	549,298 人	9,298 人	101.7%
入館料収入	460,637,000 円	480,976,572 円	20,339,572 円	104.4%